

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本講義では、プライマリ・ケアの現場において、NPの役割を鑑みながら必要な医療行為について学習する。初めに、技術を学ぶ際の学習方法について教授する。その上で、各行為の技術について、事例を想定しながら、Problem Based Learningの形式で学習を進める

【学修目標】

1. プライマリ・ケアにおけるNPの役割を考察できる
2. 各特定行為における適応・禁忌を理解することができる
3. エビデンスに基づいた手技を理解し、シミュレーター等を用いて実践を行うことができる
4. 各特定行為においてはチェックリストを用いて、適切な実践ができているか振り返ることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 医療行為の効果的な学習方法	【講義】 ・プライマリ・ケアにおけるNPの役割 ・特定行為を含む医療行為を学ぶための学習方法 (Problem Based Learning: PBL)について説明する	塚本
2 3	プライマリ・ケアにおける気道確保 気道確保のための基礎的知識	【Web-Learning】(60分×2) ・指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・気道確保のための解剖整理 ・経鼻・経管挿管が必要な病態生理 ・経鼻・経管の方法 ・バグバルブマスクの使用法 【課題】(30分×2) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
4	長期呼吸療法が必要な患者のための 医療行為 気管切開の管理	【Web-Learning】(60分) ・指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・気管切開が必要な病態とその適用 ・気管切開の基礎的知識 など 【課題】(30分) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
5	長期呼吸療法が必要な患者のための 医療行為：気管チューブの交換	【講義】 プライマリ・ケアにおける気管切開が必要な場面について、実際の在宅医療の事例より学習する	樋口秋緒(特別講師)
6 7	胃瘻・腸瘻を持つ患者のための医療 行為： 胃瘻・腸瘻チューブまたはボタンの 交換	【Web-Learning】(60分) ・指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・プライマリ・ケアにおいて経管栄養が必要な状況とそのメリット・デメリット ・嚥下障害と栄養の評価 ・胃瘻・腸瘻を持つ患者に対する感染予防 【課題】(30分) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
8 10	胃瘻・腸瘻・膀胱瘻を持つ患者のための医療行為： 胃瘻・腸瘻カテーテルまたはボタンの 交換 膀胱瘻カテーテルの交換	【講義】 ・以下のトピックスに関してプレゼンテーションを行う 1. 胃瘻・腸瘻造設について 2. 胃瘻・腸瘻周囲のスキンケアについて 3. 胃瘻・腸瘻に関する合併症について 4. 膀胱瘻増設について 5. 診療報酬について	塚本 石角

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11	膀胱瘻を持つ患者のための医療行為：膀胱瘻カテーテル交換	【Web-Learning】（60分） ・指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・プライマリ・ケアにおいて膀胱瘻が必要な状況 ・膀胱瘻のメリット・デメリット 【課題】（30分） 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
12 ） 13	経管栄養が必要な患者のための医療行為：中心静脈カテーテルの抜去と末梢挿入中心静脈カテーテルの挿入と管理	【Web-Learning】（60分） ・指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・血管アクセスデバイスの種類とその選択 ・血管アクセスデバイスにおける感染予防 など 【課題】（30分） 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
14 ） 15	経管栄養が必要な患者のための医療行為：中心静脈カテーテル抜去	【講義】 ・以下のトピックスに関してプレゼンテーションを行う ・血管アクセスデバイスとしての中心静脈カテーテルの選択が必要な時 ・カテーテルの管理方法に関する事例検討 ・感染予防、特に血流感染予防 など	塚本 石角

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション30%、筆記試験40%、実技試験30%を総合して評価する。

【教科書】

適宜提示する。

【参考書】

医療情報科学研究所著(2010). 診察と手技がみえる vol.2 メディック メディア発行

必ずうまくいく！PICC～末梢挿入型中心静脈カテーテルの挿入テクニックから管理まで(2017). 羊土社

【備考】

【学習の進め方】

すべてのテーマに置いて、事前の学習課題を呈示する。実際の授業では、事前の学習課題のディスカッションを中心に進めることでアクティブラーニングを推進する。NPとして活動する臨床現場を想定しながら、厚生労働省で定められた当該特定行為を実施するための知識・技術の基礎を身に付ける。

【学修の準備】

参考文献を熟読しておくこと